

# ウォーターサーバー取扱説明書

型式:STR-2201L-WE (ホワイト)  
STR-2201L-BK (ブラック)

床置型(L型)

ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後も、この取扱説明書はこの製品をご使用になる方がいつでも見られるように大切に保管して下さい。

2023.02 (1)

## 2. 各部の名称と仕様

1) 各部の名称

- ◆ **ボトルカバー**  
トップカバーのボトルカバーガイドとボトルカバー背面の凹部を合わせてください。
- ◆ **POWER灯**  
電源プラグをコンセントに差し込みと点灯します。
- ◆ **COLD灯**  
電源プラグをコンセントに差し込みと点灯します。
- ◆ **HOT灯**  
電源プラグをコンセントに差し込み、温水スイッチ(HOT S/W)をONにすると点灯します。
- ◆ **冷水コック**  
冷水が出ます。
- ◆ **温水コック**  
温水が出ます。温水タンクのエアー抜きにも使います。チャイルドロック機構付き。
- ◆ **水受皿**  
コックから出た水が漏れた場合の受皿(取り外し可能)
- ◆ **ベースパネル**
- ◆ **ボトルカバーガイド**  
ボトルを乗せる台
- ◆ **トップカバー**  
ボトルを乗せる台
- ◆ **ボトル差込口**
- ◆ **ノンスピルピン**  
(中央部のパイプ)  
ボトルからウォーターサーバーに水を入れる部分
- ◆ **冷水サーモスタット**  
触らないでください。
- ◆ **温水スイッチ(HOT S/W)**  
温水のON/OFFスイッチ
- ◆ **転倒防止ワイヤ**
- ◆ **温水タンク**
- ◆ **温水ドレン口**  
温水タンク 排水口  
熱湯に注意
- ◆ **背面放熱部**  
高温注意
- ◆ **コンプレッサー**
- ◆ **ヒューズ**
- ◆ **電源プラグ**  
アース線付き
- ◆ **電源コード**

2) 仕様

名称	ウォーターサーバー
名称	ウォーターサーバー
型式	STR-2201L-WE/BK (L型 床置型)
寸法	270(326)×325(353)×1333mm ( )はベースパネル寸法
重量	15kg
電源	単相100V 50/60Hz
消費電力	430W (冷水:1.2A(80W)、温水:350W)
消費電力	430W (冷水:1.2A(80W)、温水:350W)
最大供給能力	最大供給能力 約1.3ℓ 180mℓカップ約7杯
水温	4~12℃
最大供給能力	最大供給能力 約1.1ℓ 180mℓカップ約6杯
水温	80℃前後

※冷水・温水の温度は、設置環境や使用状況により、若干異なる場合があります。  
※仕様は製品改良にともない予告なく変更することがあります。

## 1. 安全上の注意事項

お使いになる方や他の方への危害、財産への損害を未然に防止するために、次のような区分表示をしています。いずれも安全や衛生に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容を理解して正しくお使い下さい。

<b>警告</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
<b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
<b>お願い</b>	ご使用時のお願いです。

### 給表示の例

<b>禁止</b>	左記の記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は「禁止」)が描かれています。
<b>注意</b>	左記の記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容(左図の場合は「注意」)が描かれています。

## 警告 (設置上の注意事項)

<b>注意</b>	設置面が水平で丈夫な所に設置してください。設置面が安定していないと、転倒や落下により事故やケガ、感電、火災、火傷の恐れがあります。
<b>禁止</b>	延長コードの使用やタコ足配線はしないでください。異常発熱し、発火や感電することがあります。
<b>注意</b>	ウォーターサーバーの背面と側面は10cm以上あけてください。冷却性能確保のため必要です。壁が汚れたり、火災や故障の原因となります。
<b>禁止</b>	電源は単相100Vで定格15A以上の専用コンセントを単独で使用してください。
<b>禁止</b>	電源コード、電源プラグの破損・加工をしないでください。東ねたり無理に曲げたり、引っ張ったり物を乗せたり、衝撃を与えたりして、無理な力を加えない、傷つけない、加工しない。感電、ショート、火災の原因となります。
<b>アース接続</b>	必ずアースしてください。故障や漏電のとき、感電する恐れがあります。

## 3. 設置方法

1) ウォーターサーバーの設置

- 箱より出してください。
- コンセントのある場所にセットしてください。

**注意** まだ、コンセントに電源プラグを差し込まないでください。

電源コードは1.7mです。

**チェックポイント**

- 0℃以下の低温となる場所に設置しないでください。
- 平らで安定した場所に設置してください。
- 後方が壁から10cm、側面も10cm以上離して設置してください。
- 付属の転倒防止ワイヤをしっかりとした壁に、1箇所ネジ止めて下さい。

2) アースの取り付け

アースは万一の感電事故を防ぐためのものです。安全のため必ず取り付けください。

3) ボトルの準備

- ボトルを箱から出してください。
- ボトルの表面を清潔な乾いたキッチンペーパー等で乾拭きしてください。
- プラスチックキャップの上面のキャップシールを剥してください。

**禁止** ボトル開封の際にカッターナイフを使用しないでください。ボトルに傷が付いて水漏れする恐れがあります。

**注意** プラスチックキャップは水を使い切るまで外さないでください。当社のボトル以外は使用しないでください。

## 注意 (設置上の注意事項)

<b>禁止</b>	屋外や湿気が多い場所、換気の悪い場所、周囲温度が氷点下になる場所、直射日光があたる場所やストーブなど発熱物のそばには設置しないでください。使えなくなったり、機器の性能が得られなかったり、機器の寿命を短くし、安全を損なう恐れがあります。不衛生になると臭いや雑菌発生の原因となり、それを飲用した場合は体調に悪影響を及ぼす恐れがあります。
<b>禁止</b>	サーバーやボトルの周囲にの強いものを置かないでください。水の風味に影響を及ぼすことがあります。
<b>禁止</b>	可燃性ガスの漏れる恐れのある場所やシンナー等の揮発性の高い溶剤等を機器の近くで使用しないでください。爆発や火災の恐れがあります。
<b>注意</b>	電気プラグにホコリがないか確認し、コンセントにプラグの根元まで確実に差し込んでください。ホコリが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の恐れがあります。
<b>禁止</b>	ホコリっぽい場所や不衛生な場所には設置しないでください。水質が変化してそれを飲用した場合、体調に悪影響を及ぼす恐れがあります。

## 警告 (使用上の注意事項)

<b>濡手禁止</b>	電源プラグは濡れた手でさわらないでください。感電の原因になります。
<b>禁止</b>	お客様ご自身では絶対に分解したり修理改善は行わないでください。異常作動したり、感電や漏水の原因となります。
<b>必ず行う</b>	電源プラグのホコリは定期的に取ってください。ホコリがたまると火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。
<b>電源抜く</b>	焦げ臭い等の異常がある場合は、電源プラグを抜いて、TOKAIお客さまセンター(0120-737-113)に連絡してください。異常のまま使い続けていると故障や感電、火災の恐れがあります。
<b>禁止</b>	幼児や正しく操作することが困難な人が、一人で操作しないでください。火傷や感電の恐れがあります。
<b>禁止</b>	背面の放熱部から指や棒を入れないでください。高温タンクで火傷したり、感電の恐れがあります。
<b>禁止</b>	電源コードを持ってプラグを引き抜かないでください。コードを持って引き抜くとコードが破損し発熱、火災、感電の恐れがあります。
<b>絶対禁止</b>	ボトルに他の水や液体を入れたりそのボトルを機器に裏装して使用しないでください。不衛生になると臭いや雑菌発生の原因となり、それを飲用した場合は体調に悪影響を及ぼす恐れがあります。

## 注意 (使用上の注意事項)

<b>禁止</b>	他のボトルは使用しないでください。このウォーターサーバーは当社ボトル専用です。水漏れの原因や不衛生になると臭いや雑菌発生の原因となり、それを飲用した場合は体調に悪影響を及ぼす恐れがあります。
<b>注意</b>	2週間以上使用しない時はTOKAIお客さまセンター(0120-737-113)に連絡してください。1ヶ月以上使用しない時はTOKAIお客さまセンター(0120-737-113)にメンテナンス(有償)を依頼してください。
<b>注意</b>	ボトルの差込口周辺や冷水・温水コックの出口部は時々清掃してください。不衛生になると臭いや雑菌発生の原因となり、それを飲用した場合は体調に悪影響を及ぼす恐れがあります。
<b>禁止</b>	背面の温水ドレン口のキャップを緩める(外す)と熱湯が出て火傷をする恐れがあります。水抜き以外では絶対に触れないでください。水抜きの場合には、電源を抜いて60分以上放置してから実施してください。
<b>高温注意</b>	温水を出す時は火傷に注意してください。
<b>注意</b>	HOT S/W(ホットスイッチ)はOFFにしないでください。一年中スイッチを入れたままにしないで下さい。不衛生になると臭いや雑菌発生の原因となり、それを飲用した場合は体調に悪影響を及ぼす恐れがあります。
<b>注意</b>	ご使用時に特にご注意ください事項があります。[5.ご使用時に特にご注意ください事項]をご覧ください。
<b>注意</b>	壁とウォーターサーバーの間にもものを置かないようにしてください。冷却性能確保のため必要です。火災や故障の原因になります。
<b>注意</b>	電源コードが破損した場合は、電源プラグを抜き、TOKAIお客さまセンター(0120-737-113)に連絡してください。

## お願い

<b>電源抜く</b>	雷が発生しはじめたら、すみやかに使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜いてください。雷により一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。雷がやんだら電源プラグを差し込んでください。
<b>注意</b>	空になったボトルはお住まいの地域の条例に従って廃棄してください。 ●ボトル本体：PET ●プラスチックキャップ：その他のプラスチック ●ボトル底のテーパー：その他のプラスチック

## 4. ご使用方法

1) 温水の出し方(ボタンを押さないとお湯がでない安全装置付きです)

温水コックのチャイルドロックボタンカバーを開け、中のチャイルドロックボタンを押しながら①、レバーを容器で押し込んでください②。レバーからコップを離すと温水は止まります。

2) 冷水の出し方

冷水コックのレバーを容器で押し込んでください。

**注意**

- 温水を出す時は火傷に注意。
- 小さなお子様には使用させないでください。火傷の恐れがあります。
- ボトルが空になると冷水は出ますが、温水は空焚き防止構造となっておりますので出ません。ボトルを交換してください。すぐにお湯が出ます。

3) 温度能力について

- 冷水温度(設定温度4℃~12℃)  
温度設定は温度固定式となっておりますので変更できません。
- 温水温度(HOTモード設定温度80℃前後)  
温度設定は温度固定式となっておりますので変更できません。
- 供給能力(最大連続取水量)  
冷水 約1.3ℓ(180mℓのカップ約7杯)  
温水 約1.1ℓ(180mℓのカップ約6杯)  
能力を超えて取水すると設定温度が得られなくなります。しばらくしてからご使用ください。

4) ボトルをウォーターサーバーにセット

ウォーターサーバー上面のウォーターガードの中央部のパイプへボトルを逆さまにして、真下に手早くしっかり差し込んでください。

**注意** ボトルを差し込んだ後、ボトルを押し下り、運したりしないでください。

**チェックポイント**

水がサーバーに入っていきとボトルが変形して濡れていきます。変形が止まるまで(1分程度)の間、水漏れがないことを確認してください。

5) 温水タンク内のエアー抜き

温水コックのチャイルドロックボタンカバーを開け、中のチャイルドロックボタンを①押しながら①、レバーを容器で押し込んでください②。この時、右図のようにコップ等で水を受けてください。水が出てきたら、エアー抜きは完了です。

6) 電源プラグをコンセントに差し込む

温水タンクのエアー抜きこれで冷水運転を開始します。POWER灯が橙、COLD灯が青で点灯します。

**禁止** コンセントのタコ足配線は発熱し、火災の恐れがありますので単独で使用してください。

7) 温水スイッチ(HOT S/W)をONにする

これで温水運転を開始します。HOT灯が赤で点灯します。

**注意** 温水を使用しない場合でも、温水スイッチ(HOT S/W)は必ずONにしてください。

設置終了後30~40分で温水および冷水が適温となります。(室温により時間が伸びることがあります)

8) 設置の確認

ボトルと温水・冷水コック、背面の温水ドレン口など、ウォーターサーバーの周辺から水漏れがないかチェックしてください。

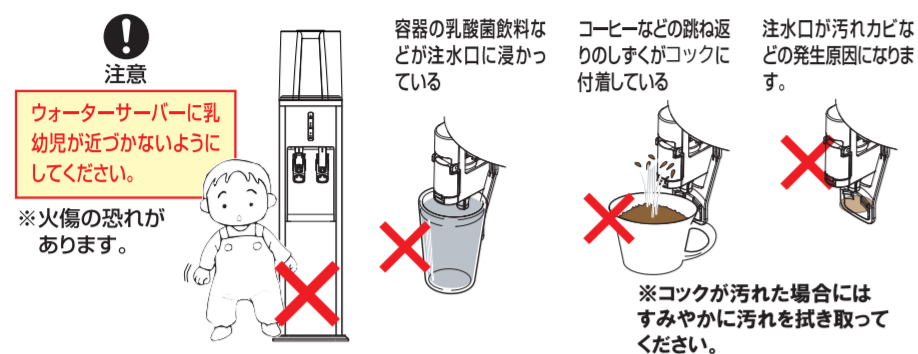
9) トップカバーにボトルカバーを乗せる。

10) 冷水・温水のコックよりコップ2杯分以上の水を取水して捨ててください。



## 5. ご使用時に特にご注意ください

- 1) 冷水や温水を受ける容器は、コックの真下で注水口から少し距離をあけて受けて下さい。  
注水口に容器が近すぎると、注水口が容器内に浸かってしまい、不衛生になります。  
また、容器内にコーヒー・紅茶や焼酎・ウイスキー、乳酸菌飲料などの原液がある場合、注水口にそうした飲料の跳ね返ったずくが付着して、カビや雑菌の発生原因となる恐れがあります。



- 2) 注水口に指や食品が触れないように注意してください。  
指や食品に付着している雑菌がコックに付着して、供給される水が不衛生になります。
- 3) 水受皿に容器を置いて、温水や冷水を出さないでください。  
容器が倒れ、床面が濡れたり火傷をしたりする恐れがあります。容器は手に持ってお使いください。

- 4) ボトルの取り外し方。
- ① ボトルカバーを外してください。
  - ② ボトルの中栓が外れて浮いていないことを確認してください。中栓が外れている状態でボトルを抜くと水が漏れてしまいます。この場合は水を使い切ってから抜いてください。
  - ③ ボトルを外す時は必ず真上へ一気に引き上げてください。ボトルの中栓がボトルを引き上げることで、自動的に締まりますので、ボトル内に水が残っていても水は漏れません。
  - ④ ゆっくりボトルを引き抜くと中栓が締まらないことがあります。ボトル内に水が残っている場合は漏れることがあります。
  - ⑤ 機器の構造上わずかですが、水がボトル内に残りますのでご了承をお願いします。

- 5) ボトルの取り付け方。

**注意** ボトルは満水の状態で約12.5kgあります。大変重いので取り扱いにはご注意ください。

- ① 交換する新しいボトルを機器の近くに用意してください。新しいボトルの表面を清潔な乾いたキッチンペーパー等できれいに拭きとってください。
- ② ボトル差込口に水がたまっている場合は、清潔な乾いたキッチンペーパーで吸い取ってください。清潔な乾いたキッチンペーパーに台所用アルコール除菌剤をしみこませて、ボトル差込口を拭いてください。(「7. お手入れ方法と日常点検」参照)
- ③ 新しいボトルのキャップシールを剥がしてください。ボトルを逆さまに持ち上げ、差込口に真下に手早くしっかり差し込んでください。ボトルがウォーターガードにあたるまで押し込んで完了です。

**禁止** 差し込んだボトルは押さないでください。水が漏れることがあります。

- 注意** ボトルが斜めになっているとボトルの中栓が外れてしまい、水中に浮き上がってしまう場合があります。そのまま使っていたとしても使用には差し支えありませんが、この場合、ボトルに水が残っている状態でボトルを外すと水が漏れますので完全に使い切ってから外してください。ボトルを斜めに差し込むとキャップが削れ、機器内に削れカスが入る場合がありますのでご注意ください。

**注意** 手をはさまないように注意

**注意** ボトルを斜めに差し込まない

**チェックポイント**

ボトルの水がなくなると

- ① 温水コックから温水が出なくなります。
- ② 新しいボトルに交換するとすぐに温水が出てきます。

## 6. ボトルのお取り扱いについて

ボトルは使い切りの容器です。  
絶対に市販のミネラルウォーターやその他の飲料を入れて再使用しないでください。

- 1) 賞味期限
- ① 未開封の賞味期限はボトルキャップの側面に印字されています。開封後はなるべく早くお飲みください。

- ② 何らかの理由で使用中にウォーターサーバーから取り出したボトルの水は飲まないでください。

2) 保管について

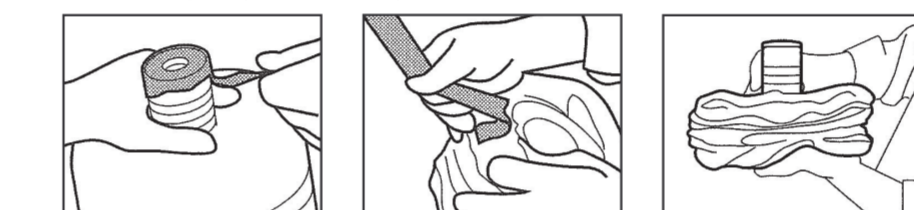
**禁止** ボトルは箱に入れたままの状態での保管は、保管の際には、箱の上下に注意してください。さかさまに置いたり、横倒しにしておくと、水が漏れることがあります。

**禁止** 保管にあたっては、室内で温度変化の少ない清潔な場所で保管してください。

**禁止** 次のような場所での保管は、絶対にしないでください。

- 屋外、ベランダなど直射日光や雨の当たる場所
- ホコリが多い場所
- 高温多湿になる場所
- 氷点下になる場所
- おいの強いもの(台所油や芳香剤など)の近く

- 3) 使用済みのボトルについて
- 容器の廃棄方法(ボトルはリサイクルできるPET樹脂です。)
- ① ボトルキャップの取り外しは切り込みに沿って裂きながら外してください。ボトルキャップはプラスチックごみとして廃棄してください。
  - ② ボトル底部のテープは粘着部分を引剥がしてください。テープはプラスチックごみとして廃棄してください。
  - ③ ボトル本体は、使用済みのつぶれた状態で、お住まいの地域の条例に従って、廃棄してください。



## 7. お手入れ方法と日常点検

- ② 定期的に行ってください
- a. 本体外面とボトルカバー(一週間に一回程度)
- 清潔なタオル等で乾拭きしてください。汚れがひどい時は食器洗い用中性洗剤を使用して拭きとってください。研磨剤入り洗剤で磨かないでください。
- b. 背面部分(放熱部)(一週間に一回程度)
- ウォーターサーバーの背面は放熱部となっています。ホコリが付着すると冷却能力が低下します。やわらかいブラシや掃除機等で掃除してください。
- c. 電源プラグ(一週間に一回程度)
- 電源プラグの刃先にホコリが付着するとトラッキング現象がおこり、発煙発火することがあります。掃除機やブラシ等でホコリを取ってください。

- 2) 長時間使用されない場合のお手入れ
- お願い** ウォーターサーバーを長時間使用されない場合は、水が不衛生になる可能性があります。2週間以上使用されない場合は、TOKAIお客様センター(0120-737-113)に連絡してください。1ヶ月以上使用されない場合は、サーバーメンテナンス(有償)を依頼して下さい。

**注意** 作業を行なう前に必ず背面の温水スイッチ(HOT S/W)をOFFにし、電源プラグを抜いてください。ウォーターサーバーや手が濡れている状態での作業はしないでください。※この作業はすみやかに行って下さい。

- ① ウォーターサーバーからボトルを外す。(「5-4) ボトルの取り外し方」参照)
- ② 熱湯が冷めるのを待つ(電源を抜いてから60分以上)。火傷する恐れがありますのでご注意ください。
- ③ 温水コックからコップ等に水を汲み、冷めているか確認する。
- ④ 冷水コックをバケツ等で受けて、冷水コックを開き、冷水を完全に抜く。
- ⑤ 背面の温水ドレン口をバケツ等で受けて、温水ドレン口のキャップを外す。内側のパッキンを引き抜いて温水を抜く。熱湯が出る場合がありますのでご注意ください。
- ⑥ 温水ドレン口の内側のパッキンを差込んでからキャップをはめる。
- ⑦ ボトル差込口、冷水コック、温水コック、水受皿等の掃除を行う。(「7. お手入れ方法と日常点検」参照)
- ⑧ ウォーターサーバー上面のトップカバーに食品用ラップ等をかけ、ホコリやゴミが入らないようにする。(ラップフィルムがズレないようにテープ等で固定する)
- ⑨ コックも食品用ラップ等でぐるむようにしてホコリが付着しないようにする。
- ⑩ 直射日光や雨の当たる場所は避けて、換気の良い室内に保管してください。

- 3) 再びご使用を開始される場合
- 再びご使用を開始される場合は、メンテナンスが必要な場合がありますのでTOKAIお客様センター(0120-737-113)に相談してください。

**お願い** 再びご使用を開始されて、万一味やにおいに異常を感じられたら、TOKAIお客様センター(0120-737-113)にご連絡いただき機器内部のメンテナンス(有料)をご依頼ください。

- ① ウォーターサーバーのラップを取る。
- ② コックと背面の温水ドレン口が閉じられているか指で回して確認する。
- ③ ボトルの差込口、冷水コック、温水コック、水受皿等の掃除を行う。(「7. お手入れ方法と日常点検」参照)
- ④ ウォーターサーバー本体に汚れや破損がないか点検する。
- ⑤ ウォーターサーバーにボトルを差し込む。(「5-5) ボトルの取り付け方」参照)
- ⑥ 水がサーバーに入っていくとボトルが変形して潰れていきます。変形が止まるまで(1分程度)の間、水漏れがないことを確認してください。
- ⑦ 温水コックを押し続け、水が出てきたらエア抜き完了です。
- ⑧ 冷水・温水のコックよりコップ2杯分以上の水を取って捨ててください。
- ⑨ 水漏れなど不具合が無いか確認する。
- ⑩ 電源プラグにホコリが付着していないことを確認し、コンセントに差し込む。
- ⑪ 背面の温水スイッチ(HOT S/W)をONにする。HOT灯が点灯。
- ⑫ トップカバーの上にボトルカバーを乗せる。
- ⑬ 適温になるまで30～40分間待ってご利用ください。室温により適温までの時間が長くなる場合があります。

**お願い** 安全にお使いいただくために以下の項目も確認してください。

- ① 電源コードや電源プラグが変色したり、異常になっていないか。
- ② 電源コードに傷や変形が無いか。
- ③ 焦げくさい臭いがしないか。
- ④ 電源コードが重いもの下敷きになっていないか。
- ⑤ 電源プラグの刃先にホコリがたまっていないか。
- ⑥ 以上のような状態があった場合は、感電事故や火災の原因になりますので特にご注意ください。
- ⑦ ボトルがウォーターサーバーにしっかりと装着されているか、斜めになっていないか。
- ⑧ 温水ドレン口や各コックから水漏れはないか。
- ⑨ ウォーターサーバーの下部やまわりに水漏れしていないか。
- ⑩ 以上のような状態があった場合は、感電事故や二次被害のおおる原因となりますので特にご注意ください。

## 8. 異常・故障かな?と思ったら

現象	確認事項	対処方法
1. 冷水・温水が出ない	① ボトルが空になっていませんか ② 電源プラグが抜けていませんか 正面のランプが点灯していますか ③ エア抜きができていますか ④ 停電ではありませんか	⇒「3. 設置方法」をご覧ください ⇒「3. 設置方法」をご覧ください ⇒「3. 設置方法」をご覧ください ⇒通電されるまで待つ
2. 冷水になるが温水(熱く)にならない	① 温水スイッチ(HOT S/W)がONになっていますか 正面の赤いランプが点灯していますか ② 供給能力以上に使用していませんか	⇒「3. 設置方法」をご覧ください ⇒「2. 各部の名称と仕様」をご覧ください
3. 温水になるが冷水(冷たく)にならない	① ウォーターサーバーの周辺のスペースは開けられていますか ② 背面の放熱部にホコリが付着して熱がこもっていませんか ③ 直射日光が当たっていませんか ④ コンプレッサーの音は普段と同じですか ⑤ 供給能力以上に使っていませんか	⇒「3. 設置方法」をご覧ください ⇒「7. お手入れ方法と日常点検」をご覧ください ⇒直射日光が当たっている時は当たらない場所に移動させてください ⇒いつもと違う時は、TOKAIお客様センター(0120-737-113)までご連絡ください ⇒「2. 各部の名称と仕様」をご覧ください
4. 水が漏れている	① ウォーターサーバーの下部や周辺から水が漏れていますか ② コックから水が漏れていますか ③ ボトルから水が漏れていますか ④ 温水ドレン口のキャップから水が漏れていますか	⇒「7. お手入れ方法と日常点検」をご覧ください。水抜きを行い、TOKAIお客様センター(0120-737-113)までご連絡ください ⇒温水ドレン口を閉めても水漏れが止まらない時は、TOKAIお客様センター(0120-737-113)までご連絡ください
5. ウォーターサーバー背面よりカチカチ音がする		⇒冷水サーモスタットの自動入切の作動音で故障や異常ではありません

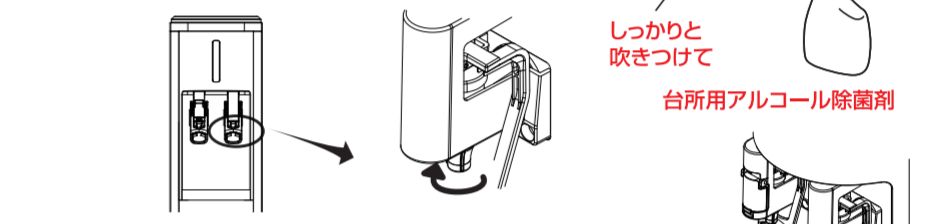
## 7. お手入れ方法と日常点検

ウォーターサーバーの衛生管理で一番重要なことは、普段のお客さまご自身によるお手入れです。

- 1) 普段のお手入れ
- 注意** お手入れの前にウォーターサーバーの電源プラグを抜いてください。濡れた手でお手入れはしないでください。洗剤で水洗いをしていただき、台所用アルコール除菌剤と清潔なキッチンペーパー等を使ってください。

- ① 頻繁に行っていただくお手入れ
- a. ボトル差込口及び周辺(ボトル交換時)
- ボトル差込口に水がたまっていたり、汚れが付着していると雑菌が繁殖する恐れがあります。
  - ボトル差込口に水がたまっていたら水分を取り除いてから、台所用アルコール除菌剤をキッチンペーパーなどに吹き付けて消毒し、拭き取ってください。

- b. 冷・温水コック(一日一回以上)
- 特にペットを室内で飼っている場合、ウォーターサーバーを寝室に設置している場合、人の出入りが多い場所に設置している場合は、特にお手入れを頻繁に行ってください。



コックの注水口は外して洗うことができます。  
**注意** 温水コックは熱くなっていることがあります。火傷に注意してください。

- c. 水受皿(一日一回以上)
- 食器洗い用中性洗剤でスポンジ等を使い洗ってください。
- 水受皿は手前に引くと取り外しできます

## 9. 修理とアフターサービス

「8. 異常・故障かな?と思ったら」の内容をご確認していただき、解決しない故障や異常、および水の味や風味等の変化を感じられたときは、ただちにご使用を中止していただき、TOKAIお客様センター(0120-737-113)にご連絡ください。点検・修理等の対応をとらせていただきます。

● 修理を依頼される時は次の事項をお知らせください。  
① お名前、ご住所、電話番号 ② ご使用の機種の種類 ③ 故障や異常の内容をできるだけ詳しく

**個人情報の利用目的**

弊社(販売代理店)はお客様からお預かりした個人情報の適切な保護管理に努めるとともに商品、サービスなどの販売、工事の実施、保守点検等に関するアフターサービス、新商品・新サービスのご案内などに利用させていただきますので、予めご了承ください。また、お客様により良いサービスを提供するため、グループ会社等と共同利用を行う場合がございますので、併せてご了承ください。なお詳しくは弊社(販売代理店)にお問合せください。